



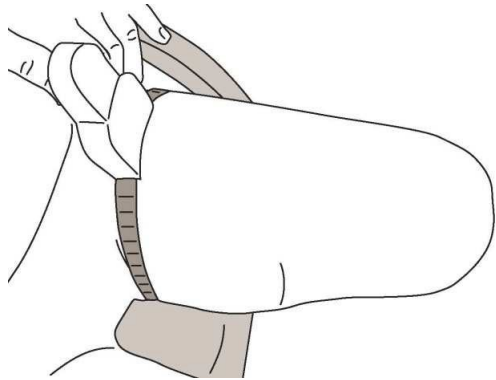
5A60 Varos ソケット 採寸・組立マニュアル

断端の採寸

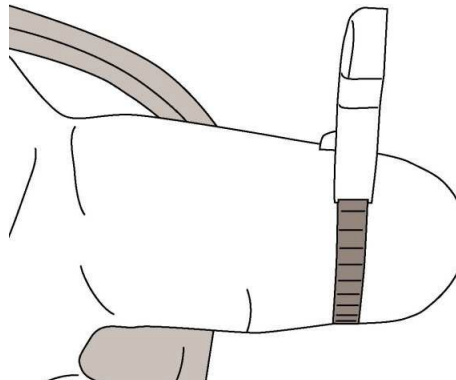
ottobock.

採寸部位 3 カ所

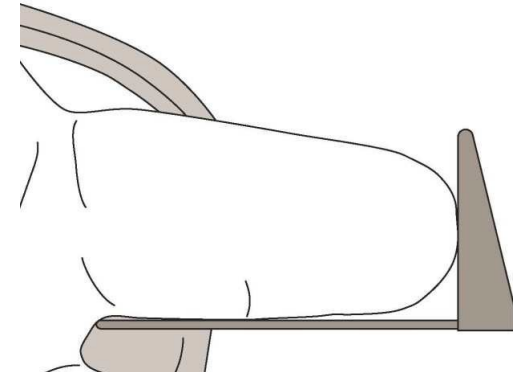
ライナー無しでイスに座り採寸



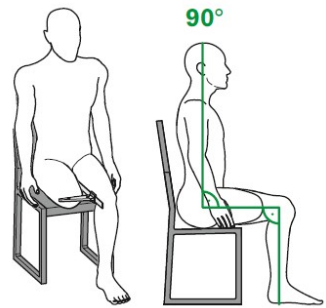
① 近位周径
会陰部の周径



② 断端末周径
断端末近位 5cm の周
径



③ 断端長
恥骨～断端末の長さ



5A60 Varos ソケット サイズ選択

ottobock.

断端の採寸値からソケットのサイズを選択



	Varos S	Varos SC*	Varos M	Varos MC*	Varos L
近位周径 (会陰部周径)	410-510mm	460-580mm	460-580mm	520-650mm	520-650mm
断端末周径 (断端末近位 5cm 周径)	320-390mm		350-440mm		400-490mm
断端長 (恥骨～断端末)	200-320mm				

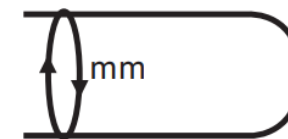
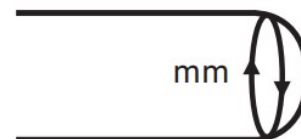
Varos のソケット長：内側壁からソケット底まで

*C....conical

6Y200 Varos ライナー サイズ選択

ottobock.

断端の採寸値からライナーのサイズを選択



	断端末周径 (断端末近位 5cm 周径)	近位周径 (会陰部周径)
6Y200=S-1	310-350	420-490
6Y200=SC-1		480-550
6Y200=S-2	330-370	450-520
6Y200=SC-2		510-580
6Y200=M-1	360-410	480-550
6Y200=MC-1		530-610
6Y200=M-2	390-440	510-580
6Y200=MC-2		560-650
6Y200=L-1	400-450	530-610
6Y200=L-2	430-490	560-650

採寸後の組立の流れ

ottobock.

断端長に合わせてカット



ケーブルを通す



組み立てる

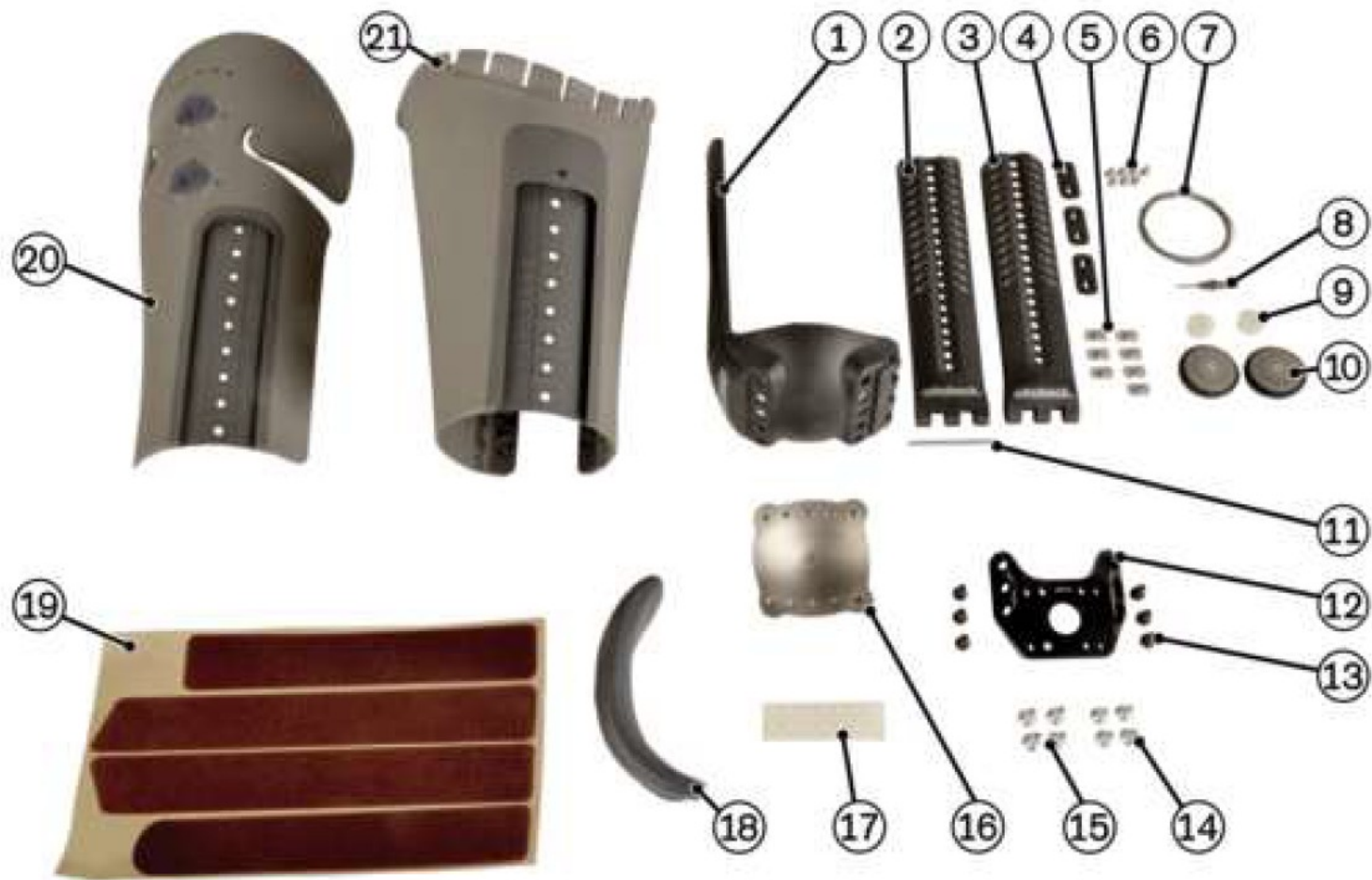


できあがり



組立前の確認：パッケージ内容

ottobock.

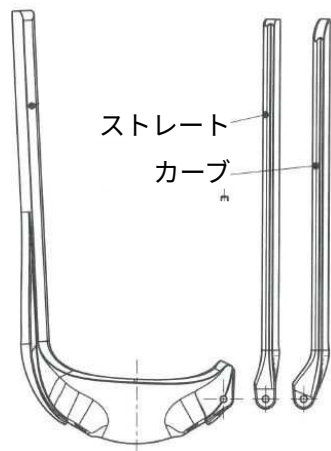


No.	品名	数量
1	内側サイドレール	1
2	外側サイドレール - 直線	1
3	外側サイドレール - カーブ	1
4	クランプ片	3
5	スロットナット	7
6	M4x8 皿頭ネジ	7
7	ボアケーブル	4
8	ボアツール	1
9	ボアリール	2
10	ボアダイヤル	2
11	軸	1
12	コネクションアダプター	1
13	止めネジ	6
14	M6x12 皿頭ネジ	4
15	M6x16 皿頭ネジ	4
16	マグネティックボトムシェル	1
17	ラバーナブ	14
18	ソケットブリムパッド	1
19	布製両面テープセット	1
20	外ソケットシェル	1
21	内ソケットシェル	1

組み立て

ottobock.

組立前の確認：外側サイドレールの選択



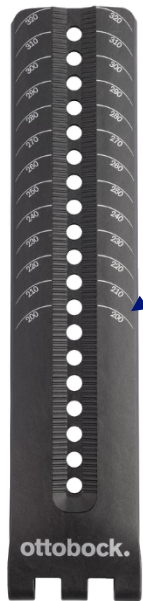
	外側サイドレール ストレート	断端末周径	外側サイドレール カーブ
Varos S and SC		$\leq 370\text{mm} <$	
Varos M and MC		$\leq 410\text{mm} <$	
Varos L		$\leq 460\text{mm} <$	

組み立て

ottobock.

Step 1： 部品のカット

採寸した断端長と同じ目盛りで全ての部品を切る （例：断端長 20cm）



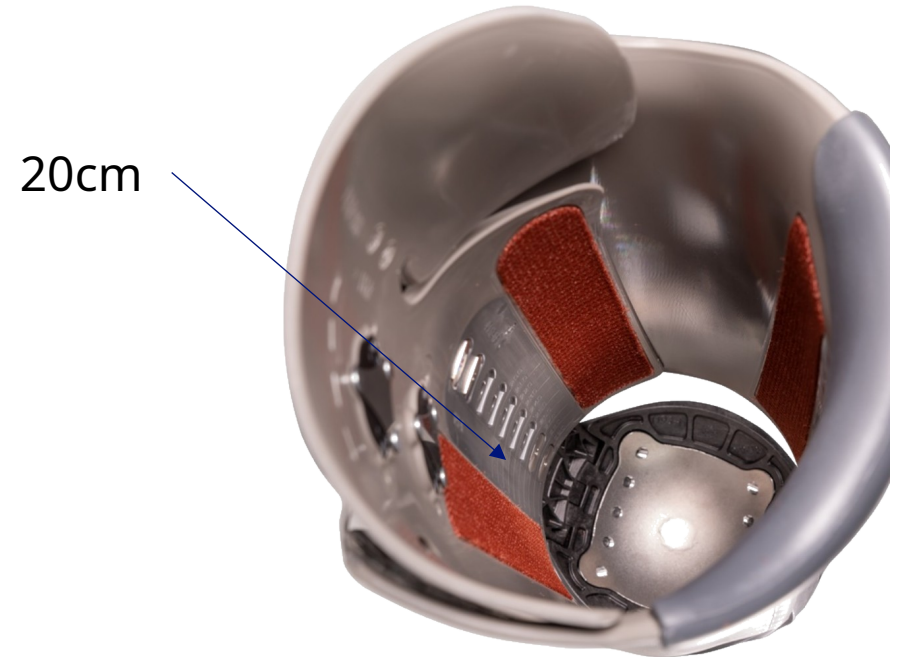
20cm

外側サイドレール



20cm

内側サイドレール



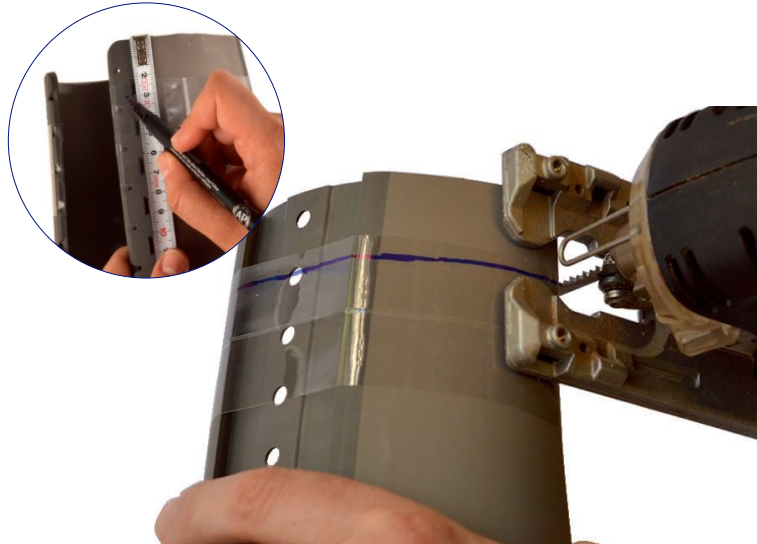
20cm

ソケットシェル内側に目盛

組み立て

ottobock.

Step 1： 部品のカット



内側の目盛りを転写
同じ高さで全周カット



切り口を滑らかに整える



ハンドソーでカット

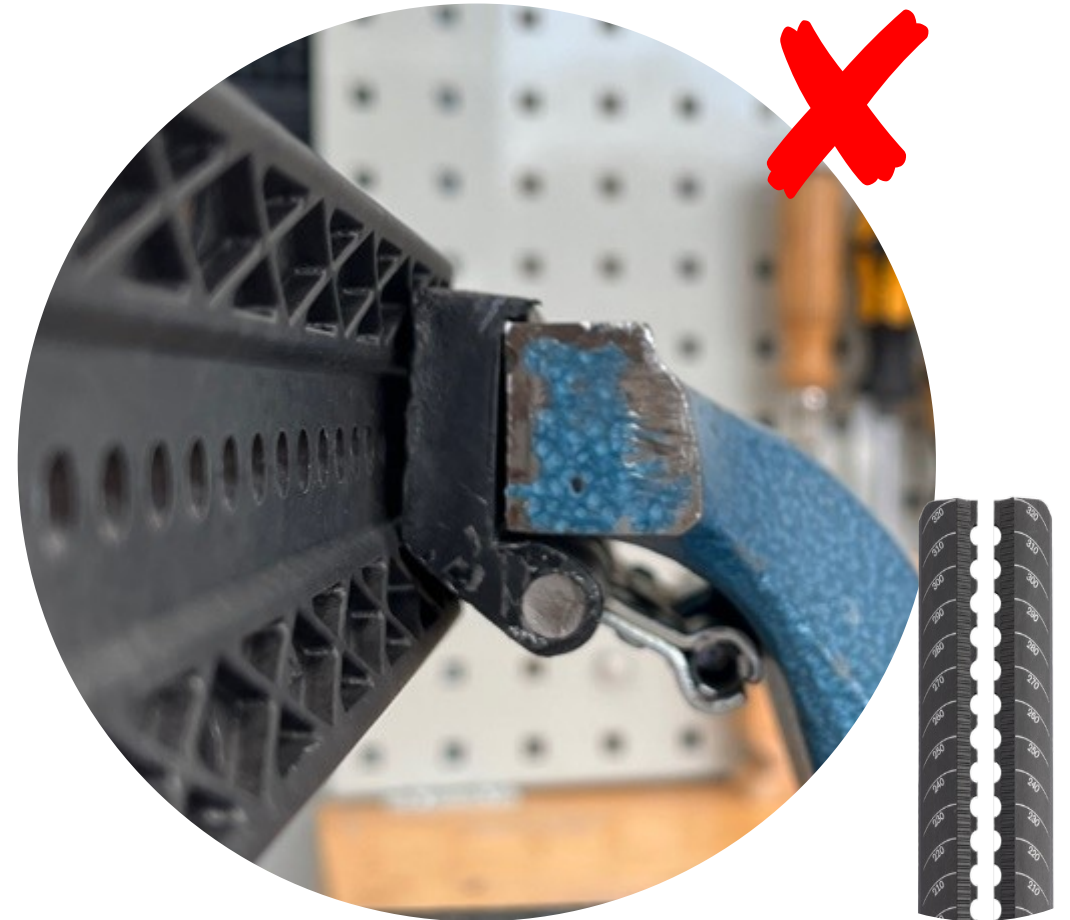
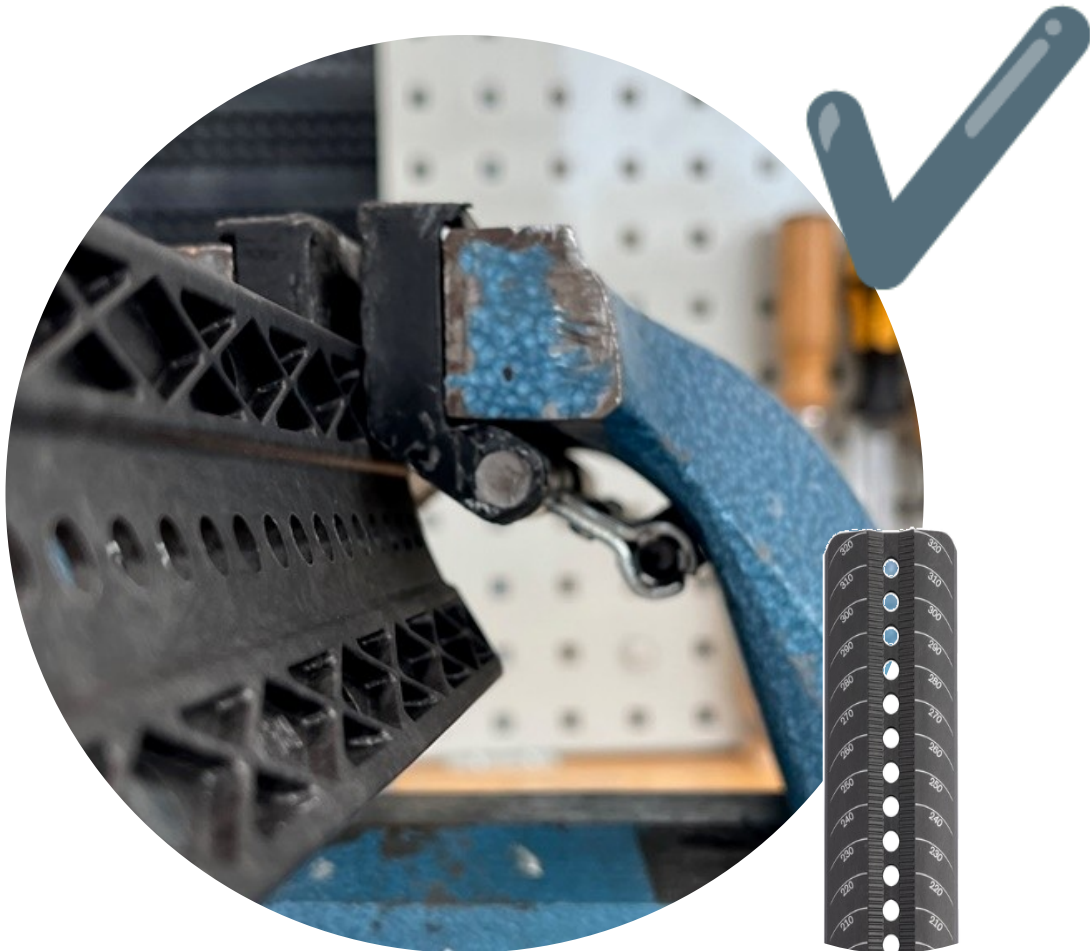
注意
帯鋸を使う場合、切削速度を遅くし
プラスチックが溶けないようにする。

注意点

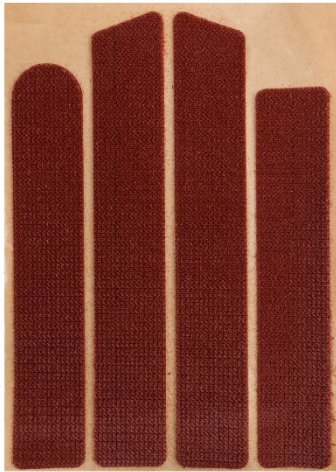
ottobock.

サイドレールのカット

万力への固定で割らないように注意



Step 2：布製滑り止めの貼り付け



布製滑り止め

- ・滑り止めの毛並みに注意
- ・起毛が下向き



ソケットシェルの内側のくぼみに接着

- ・イソプロピルアルコールでくぼみをきれいに拭いてから貼り付け

組み立て

ottobock.

Step 3: ラバーナブの貼り付け



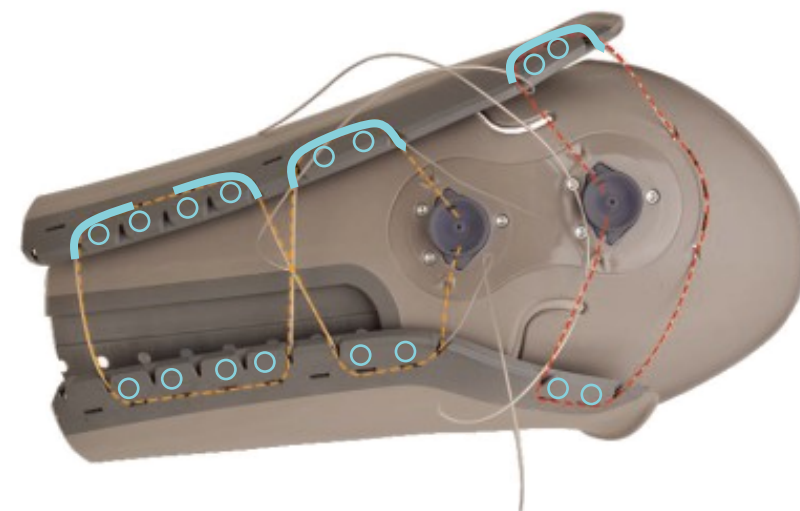
ラバーナブ

- ・内外ソケットシェルのずれを防止
- ・摩耗劣化を軽減



ソケットシェルの内側のくぼみに接着

- ・イソプロピルアルコールでくぼみをきれいに拭いてから貼り付け



貼り付け位置

- ・ケーブルが通る部分のくぼみ

Step 4：ボアケーブルを 2 本通す

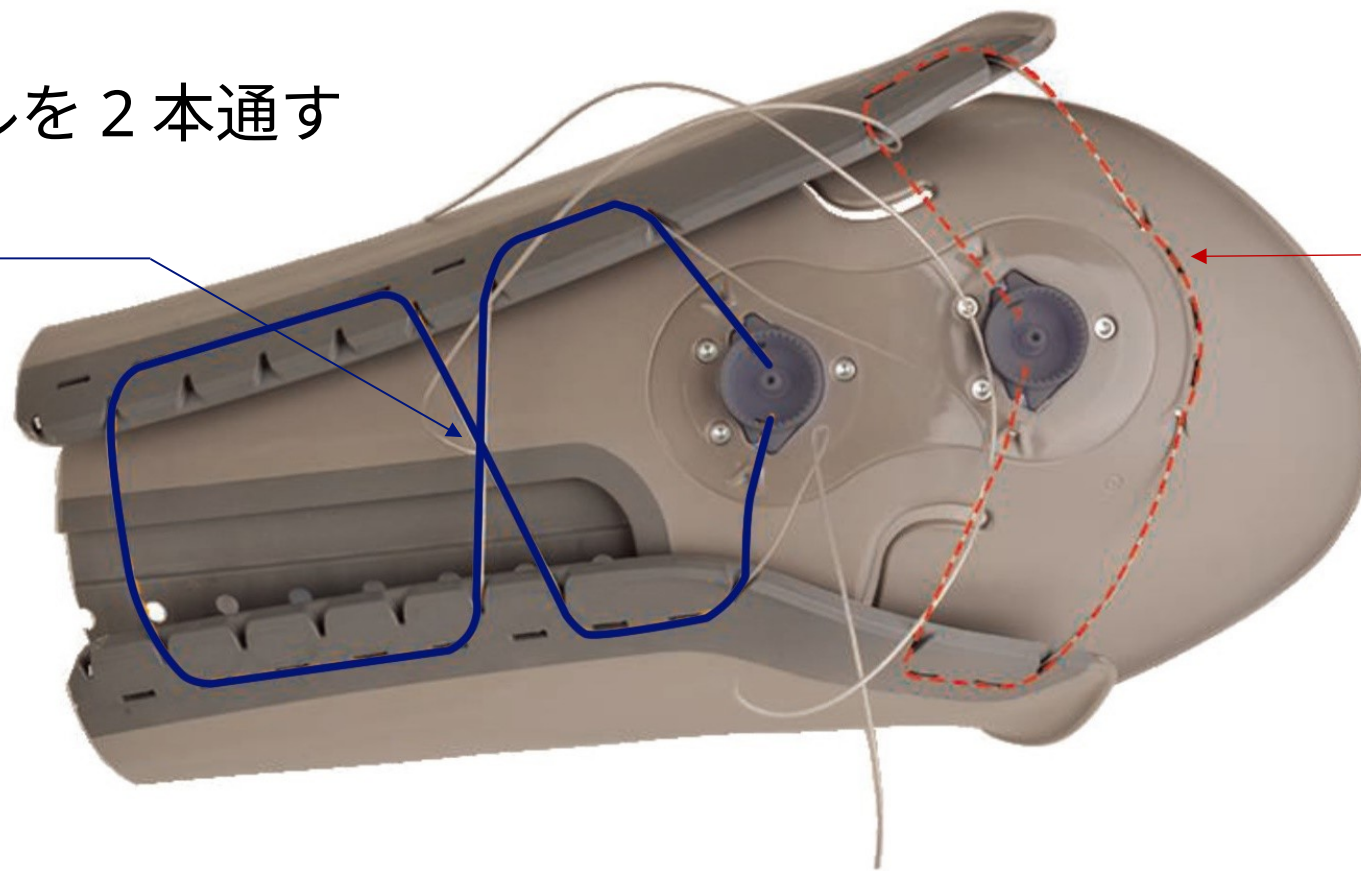
ソケット長からケーブルを 2 本選択（ケーブル 4 本同梱 900, 1000, 1300, 1600mm）

ソケット長 (mm)	200/210	220/230	240/250	260/270	280/290	300/310	320
近位ケーブル長	900	900	900	900	900	1000	1000
遠位ケーブル長	1000	1000	1000	1300	1300	1600	1600
遠位ケーブルの 交差数	1	1	2	2	3	3	3

Step 4: ボアケーブルを 2 本通す

遠位ケーブル

交差数はソケット長により決まる。前ページの表を参考。



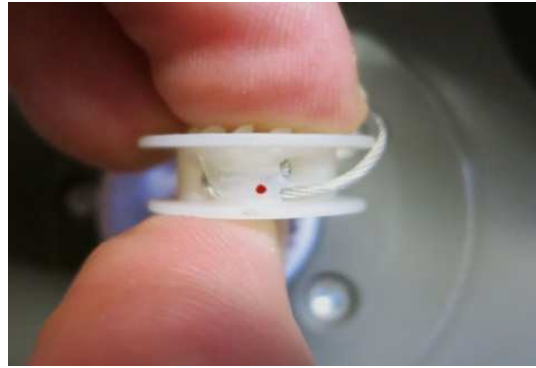
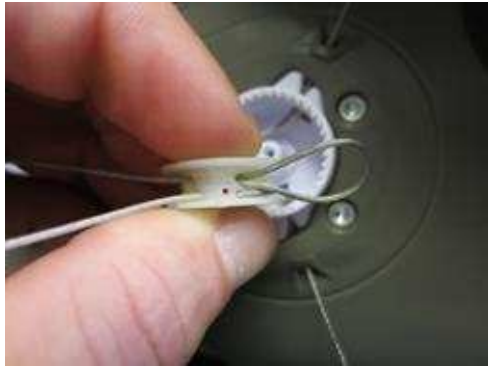
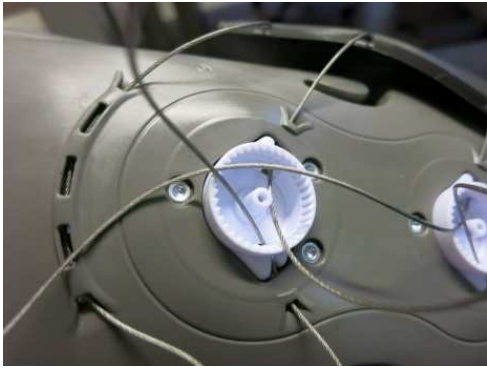
近位ケーブル

- ① 遠位ケーブルを内側シェルに通す。指定の交差数に従う。
- ② 近位ケーブルを内側シェルの片側に通す。
- ③ 外側シェルを内側シェルに入れる。
- ④ 近位ケーブルを外側シェルのケーブルガイドに通す。
- ⑤ 近位ケーブルを内側シェルのもう片方に通す。
- ⑥ 2本のケーブルをダイヤル本体の開口部に通す。

組み立て

ottobock.

Step 5 : ボアリールの取り付け



ケーブルをゆっくりと引っ張りながらボアリールを本体にはめる



赤い点の穴から始める



組み立て

ottobock.

Step 6: サイドレールの組み立て



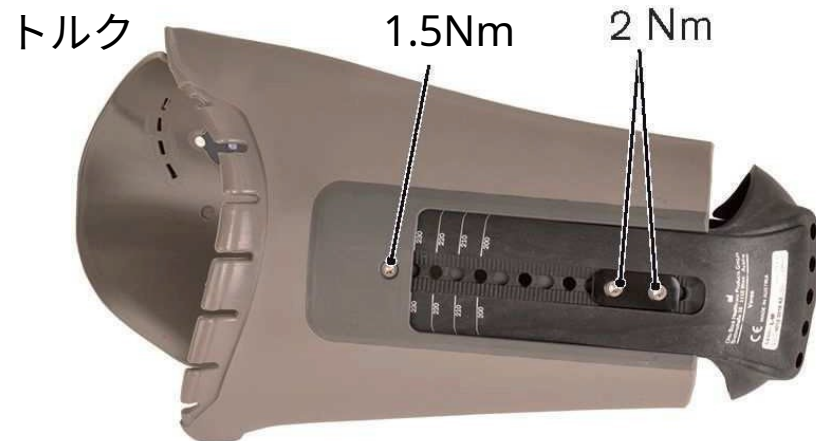
組み立て

ottobock.

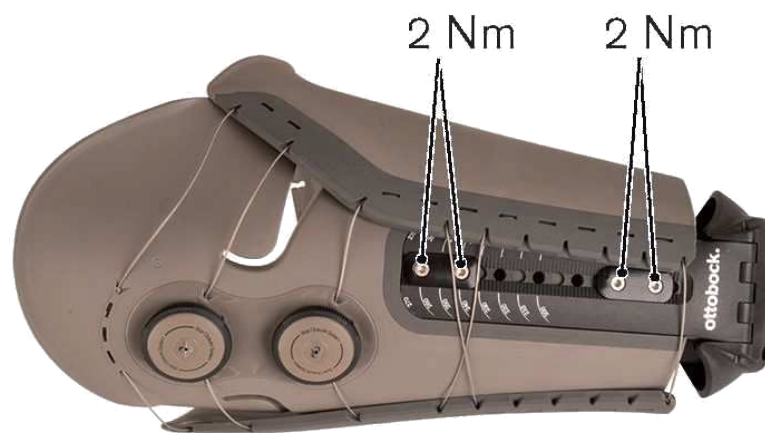
Step 7: ソケットの組立

- ・強度を保つため規定のネジ止め本数／ネジ止め位置あり
- ・トルク管理とロックタイトが必要
- ・シェルとサイドレールが重なるところをネジ止め

ネジの位置 近位 x1 本 遠位 x2 本



近位 x2 本 遠位 x2 本



コネクションアダプター 6 本

